

きぬ聖苑 電気設備工事

仕 様 書

筑西広域市町村圏事務組合

目 次

第一章	工 事 概 要	・ ・ ・	1 頁
第二章	機器仕様及び工事内容等	・ ・ ・	2 頁
第三章	安全衛生及びその他	・ ・ ・	3 ～ 4 頁
第四章	契約および保証事項	・ ・ ・	5 頁

第一章 工 事 概 要

- 1 適用 本仕様書は、筑西広域市町村圏事務組合「きぬ聖苑 電気設備工事」に適用する。
- 2 目的 きぬ聖苑における電気設備（キュービクル）を更新し、安定した電力供給ができることを目的とする。
- 3 施工場所 茨城県筑西市下川島 6 5 5 番地 1
筑西広域市町村圏事務組合 きぬ聖苑地内
- 4 工事項目 電気設備更新
 - (1) 電気設備（キュービクル）新規取付、既存撤去
 - (2) 既存、新規設備揚重作業
 - (3) 既存配線切離し、新規設備配線接続
 - (4) 主任技術者立会及び試験
- 5 施工期間 契約締結日の翌日～令和 8 年 3 月 1 6 日
※工事の実施日は、きぬ聖苑の休園日に当たる「友引の日」及び「8 月 1 5、1 6 日、1 月 1 日～3 日」とする。
※友引 1 日で工事を行う場合は、事前に筑西広域市町村圏事務組合（以下「甲」という。）の担当者と協議し、翌日の火葬業務等に支障をきたさないよう実施すること。
- 6 一般事項
 - (1) 本工事は、関係する法令、条例、約款および規格等に基づき実施する。また、工事実施日には第一種電気工事士の資格を有する者が常時現場に立ち会うものとする。
 - (2) 工事実施日は苑内が停電の状態になるため、工事日数又は、工事が終了し復電するまでの時間に対応できる、発電機などを用意すること。なお、その際の費用は、受注者（以下「乙」という。）の負担とする。
 - (3) 工事内容の詳細は、第二章以降を参照のこと。

第二章 機器仕様及び工事内容等

1 主な設置機器及び材料

項目	仕様・内容
高圧受電盤（屋外型）	新設
低圧電灯盤＋高圧 SC 盤（屋外型）	新設
低圧動力盤（屋外型）	新設
三相変圧器	150KVA 6.6kV／210V 屋内型、防振ゴム、警報接点付温度計
単相変圧器	150KVA 6.6kV／210-105V 屋内型、防振ゴム、警報接点付温度計
スコット変圧器	三／単相 20KVA 210V／210-105V×2 回路、屋内型、防振ゴム、警報接点付温度計
高圧進相コンデンサ	100kvar L=6%
高圧進相コンデンサ用リアクトル	100kvar L=6%
保護検出器	一台
ヒューズ類	予備品として付属
ダイヤル温度計	盤面取付、警報接点付 各変圧器に設置
発電機	停電対応（乙が準備）

2 既設設備撤去・処分

項目	内容
高圧受電盤（屋外型）	撤去・搬出・処分
低圧電灯盤＋高圧 SC 盤（屋外型）	同上

3 配線・遮断器（既設切替・更新）

分類	内容・仕様
電灯盤	配線用遮断器（MCCB）3P225AF×4 3P100AF×4
動力盤	配線用遮断器（MCCB）3P400AF×1 3P225AF×3 3P50AF×3

第三章 安全衛生及びその他

1 甲への提出書類

本仕様書に基づき、契約締結後 5 日以内に下記の書類を提出すること。（任意様式）

- (1) 着工届
- (2) 現場代理人届
- (3) 工程表

2 安全衛生

(1) 工事に当たって、乙は作業前に作業方法、手順及び安全対策等、十分な安全対策を施すこと。

(2) 乙は、工事期間を通じ「労働安全衛生法」等関係法令を遵守し、かつ関係法令に定められた事業者としての責を負うものとする。

(3) 安全衛生に関し、乙が必要とする諸官庁への手続きについて下記の書類を提出する場合は、甲の承諾を受けるものとする。

- ① 有資格者名簿
- ② 作業員名簿
- ③ その他

(4) 工事日報の提出

乙は、安全衛生管理組織表を基に工事期間中の「労働安全衛生法」等の諸規定にのっとり現場諸設備の事前点検、工事中の管理状態の点検を実施し作業監督者及び作業員に対する指導内容等を記録した工事日報を甲に提出するものとする。

また、必要に応じ工事打合せ簿（任意様式）を作成し、甲の承認を得ること。

(5) 工事以外の火気管理

乙は、休憩所での喫煙及び電熱器などの火気を使用する場合は、事前に甲の許可を得た後に使用し、火元責任者を定めて管理しなければならない。

3 工事に伴う乙の負担品等

- (1) 甲が指定する材料、資材及び機材（足場材等）
- (2) その他必要とする資材、工具及び消耗品

4 廃材の取扱い

- (1) 本工事において発生した廃材については、乙が適切に処分すること。
- (2) 廃材を施設内に仮置きする場合に必要なコンテナ及びフレキシブルコンテナバ

ッグ等については、乙が準備し、廃材が飛散しないようにシートやコンクリートパネル等で養生すること。

5 立会及び試運転

立会等のために必要とする設備の準備、資材の提供及び総合試運転については、乙が行うものとする。

6 工事の誤り又は不備

乙は、工事の誤り又は不備を甲から指摘された場合は、速やかにこれを修正、手直し及び取替え等を行い検査を受けるものとし、この場合に要する一切の費用は乙の負担とする。

7 検 査

- (1) 工事完成後、甲の完成検査に合格した後、乙は工事引渡しができるものとする。
- (2) 工事完成時に提出する報告書の内容は別途指示する。

8 疑 義

工事内容に疑義又は不都合が生じた場合は、甲、乙両者で協議するものとし、甲の指示に従い工事の進捗に支障をきたさないよう配慮する。

第四章 契約・保証および附帯事項

1 契約関連事項

(1) 契約に基づく義務

乙は、本工事に関し、契約書の条項にのっとり誠実に履行すること。

(2) 契約不適合責任

乙は、工事完成引渡し後に発生した不具合等について、保証期間内は無償にて補修又は取替を行うものとする。

2 保証期間

引渡し後の故障は、筑西広域市町村圏事務組合財務等に関する規則において準用する筑西市建設工事執行規則（様式第1号別紙「履行条項」）に基づく。